



区民の皆様へ

第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会

2016

第36号

平成28年5月1日発行

協議会だより

■発行 第五地区心潤う豊かなまちづくり協議会／会長：高見澤忠明

■編集 総務広報部会 広報委員

安全防災部会

裾花ダム・県営水道など視察研修 ～多目的ダムの役割と、県営水道を視察～

第五地区の西側を流れる裾花川は、上流にある裾花ダムにより、洪水調整を図り、下流の市街地を洪水による被害から守ってくれております。そして、長野市への上水道用水を供給し、発電所で安定した電力を地域社会に供給する役割を果たしております。



また、川中島町四ツ屋にある県営水道施設を、11月10日（火）に地域住民23名で視察研修しました。

長野市は昭和24年9月に裾花川が集中豪雨により、市内の2カ所で堤防が決壊して市の大半が浸水し、大変な被害を被りました。これにより裾花川の治水が求められ、長野県は裾花川上流総合開発事業を計画しました。事業の中核として、7年の歳月をかけて昭和44年に小鍋地区にアーチ式多目的ダムを建設して、長野市を水害から守ってくれております。また、ここから旭山の中腹にある夏目が原浄水場に水を供給しております。



この裾花ダムのすぐ下流の右岸地下には、県企業局が地下式発電所を建設して、安定した電力を地域社会に供給する役割を果たしております。

また、川中島町四ツ屋に県企業局川中島水道管理事務所があり、ここで篠ノ井小松原・川中島四ツ屋の14カ所で地下100mから地下水を汲み上げて、水道水を作って犀川以南の長野市と千曲市に水道水を供給する施設を見学しました。



生涯学習青少年育成部会

第28回早朝マラソン大会 ～みんな一生懸命走りました～

3月恒例行事の早朝マラソン大会が、3月13日（日）の早朝に行われました。

例年応援参加いただいている裾花中学校、西部中学校の陸上部は行事が重なって不参加でしたが、第五地区内の小学校高学年、中学校の男女生徒が、まだ寒い時期にも関わらず大勢が参加しました。



山王小学校に集合し、来賓の柘植市議と高見澤会長の挨拶のあと、入念に準備体操を行い、8時に長野駅前交番の協力を得て通行止めにした校庭横の道路を、号砲で一斉に元気よくスタートしました。

裾花川相生橋を渡り、右岸のサイクリング道路を長安橋で折り返して、全長約3.3kmのコースを全員一生懸命に走って、全員元気よくゴールに戻ってきました。

表彰式では、4つのエントリー毎に会長から賞状と賞品が授与され、誇らしげに受け取っておりました。



長野駅前繁華街防犯パトロール ～現在は、環境が一変して良くなりました～



第五地区は中心市街地の長野駅玄関口にも位置しております。

従って、若者も集まって来ますので、事業の一環として青少年の健全育成にも取り組んでおります。

3月4日（金）夕方、若者が集まってくるJR長野駅中心の繁華街を、青少年委員会、防犯協会、中央警察署少年警察ボランティア、長野市教育委員会少年育成センターなどの関係者で、長野駅前交番宮島亮子所長の指導、案内により防犯パトロールを実施しました。

宮島所長の話では、1年前は駅舎の改修工事がされていて、アウトローやカラーギャングなどの不良少年グループが居なくなり、完成後には戻ってくるのではないかと予測されたが、現在まで全く姿を見かけなくなりました。非常に良い環境になっているとのこと。また、オートバイで排気音を轟かせて走りまわる暴走族も、一時に比べるとめっきり減っているようで、環境は良くなっているそうです。これは、日頃の駅前交番の日夜のパトロール・指導のお蔭で、門前町の玄関口に相応しい環境が保たれております。

参加者は2班に分かれて、善光寺口のMIDORI、駅コンコース、千石街ゲームセンター、ひまわり公園等がある繁華街から、整備されて生まれ変わった長野駅東口一帯を巡回しました。



時節柄寒い時期の影響か、屋外の公園、コンビニの前などは、たむろしている若者の姿は見かけませんでしたが、駅のコンコース、ゲームセンターなどには、特に女子高生などの若者がグループで集まっておりました。

一時に比べるとすっかり環境が良くなった繁華街を、今後も定期的にパトロールを続けていく予定です。

*アウトロー：ならず者

*カラーギャング：一時若者が、黒や赤・青いつなぎ服など統一した服装で、たむろしていた不良少年グループ

健康福祉環境部会

善光寺七福神めぐり ～神様の由来・ご利益を学びました～



善光寺は創建以来1,400年以上の歴史を持っております。門前町の表参道（中央通り）沿い2.5kmの界隈にある神社仏閣には、七福神が祀られております。

この神社・仏閣の由来や神様を理解するため、長野市善光寺表参道ガイド協会の3名のガイドさんをお願いして、3月16日（水）の午前中に、参加者が3班に分かれて案内していただきました。

スタートは、その昔、善光寺南大門とも称せられ、善光寺参拝の人々が必ず立ち寄っていく寺として栄えた、刈萱山西光寺を訪れました。西光寺は南の守り神様が祀られている霊場で、開祖刈萱上人とその御子石堂丸が祀られていることで全国に知られております。ここには一番「寿老人」が祀られ、長寿を象徴した神で長寿、財運、子孫長久のご利益や寺の由来などの説明を受けました。



そして、表参道を善光寺に向かって北上し、道中昔の河川の流れていた場所や様子、昔の北国街道、西山街道の説明を受けました。最後に北の方角を守る神様、世尊院の七番「毘沙門天」を訪れました。毘沙門天は仏法を守る四天王の一人で「多聞天」とも呼ばれており、戦の神様、福の神としても信仰されているそうです。

七福神は、中国・インドの神が各3点で、日本は恵比寿の1点だそうです。この六番「恵比寿」は恵比寿講で有名な西宮神社に、右手に釣竿、左手に鯛を抱え、商売繁盛・家内安全などの御神徳を称えられる神様だそうです。

2時間半に亘り、七福神の説明を受けながら、途中の各場所で昔の様子を説明いただき、ガイドさんの博学・豊富な知識の説明で、地元に残る名所旧跡の由来や昔の事を理解することができ、大変有意義な研修でした。

*善光寺七福神：①寿老人（刈萱山西光寺）、②大黒天（大国主神社）、③福祿寿（秋葉神社）、④弁財天（往生院）、⑤布袋（THE FUJIYA GOHONJIN）、⑥恵比寿（西宮神社）、⑦毘沙門天（世尊院）

長野交通圏タクシー減車について

～タクシーの機能を安定的に維持・活性化のための取り組み～



タクシー業界を取り巻く環境は、平成14年に道路運送法改正により、新規事業の開始や増車等に係る参入規制が撤廃されました。これにより、規制緩和後に新規事業者や車両が増加する一方で、輸送人員などの輸送需要が減少し歯止めがかからない状況になっております。平成25年度は全国のタクシー会社の6割以上が赤字経営を強いられております。

地域社会におけるタクシーは重要な役割を果たしておりますが、地域社会の活力を維持していくためには、それぞれの地域において、タクシーの機能を安定的に維持・活性化していくことが必要です。

これに伴い、県内の業者間の競争が激しい長野交通圏（長野市・千曲市・坂城町）、松本交通圏、上田A地区、飯田A地区の4地区の協議会が、タクシー事業の適正化及び活性化に向けて組織されました。長野交通圏地域協議会は、県、市、関係行政機関、タクシー事業者、労働組合、地域住民など16名の委員で取り組んでおります。この地域住民の代表には、長野駅前に位置しタクシー利用客が多い、未広町区長・第五地区住自協高見澤会長が委員に任命されております。



7月3日には、国土交通省がタクシー事業者に台数削減を強制できる「特定地域」に長野交通圏を含む札幌、横浜、金沢など全国の11地域を指定するよう運輸審議会に諮問しました。長野交通圏の平成26年度のタクシー台数は757台で、北陸信越陸運局の試算による適正台数は510～574台を大きく上回っております。

審議が認められ、過当競争防止を目的に、8月1日から3年間で適正台数に減車が義務付けられ、委員はタクシー業界の健全経営を目指して取り組んでおられます。

各町からのお知らせ



中御所 より

お出かけサロン

～特殊詐欺にだまされないで講演～



中御所では、定期的に公民館にお茶飲みがてら気軽に訪れ、各団体が持ち回りで催しを企画して、住民同士が懇談する「お出かけサロン」が行われております。

7月10日（金）には中御所防犯協会の主催で、小林秀雄会長が「私たちの身近な犯罪～特殊詐欺・少年犯罪・暴力団～」と題して講演をされ、約30人の住民が参加しました。

特殊詐欺の被害が、新聞などで連日報道されております。県警は引き続き注意を呼びかけております。中御所では、「おれおれ詐欺」の電話を参加者の何人かは受けたが、被害にあった人はいないそうです。

二重電話・盗撮・留守番電話の設定、相手をもう一度確認することで、ある程度被害を防げるそうです。

そして、最近の犯罪では、少年犯罪は減少傾向にあるが、凶悪化が目立っているそうです。

暴力団は全国に63,000人で長野県には900人、長野市には130人位いるそうです。色々な手口で資金を稼ぐことから、県・市では、暴力団排除条例を施行して、反社会団体の暴力団を許さない精神で取り組んでおります。何かありましたら、まず警察や近くの交番に連絡を。



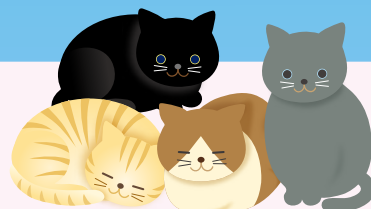
今日の話の一つでも心の中に残していただけたら。また、家に帰ったら今日参加できなかった隣近所の方に教えて上げてください。これが本当の防犯活動とのことです。

地域ぐるみでお茶飲みがてら気軽に訪れ、いろいろなことに取組み、お互いに連帯感を芽生えさせて、日常生活に役立てるのが地域の「お出かけサロン」の効果ではないでしょうか。

各町からのお知らせ

南石堂町
より

ネコとひとが共生ともいきできる地域づくり ～『南石堂町福猫クラブ』が発足しました～



南石堂町の環境美化推進会（会長 須田 荘一郎氏）では、かねてより、まちなかに住み着いている野良猫の繁殖を抑制して、糞尿や出産など様々な迷惑を減らし、きれいで住み良いまちづくりを目指して検討会を重ねて対策を協議してきました。また、野良猫・外猫に不妊・去勢手術も施してきました。この結果まちなかで野良猫の姿が少なくなり、一定の効果が表れており住民の方から評価を得ております。

10月17日に、関係者で地域猫のこれからの施策を相談しました。組織化して11月1日からスタートすることとし、名称を『南石堂町福猫クラブ』と命名しました。猫好きな方、猫の面倒を見て下さる方に会員として応募いただき、猫の餌やりや後片付け、糞の後始末などの活動に取り組んでいただくこととしました。野良猫・外猫を定期的に捕獲して、避妊措置などを施し繁殖の抑制を継続して取り組むとのことです。この取り組みにご協力いただくクラブ会員も募集しております。

また、10月29日には地域を限定して、第3回目の外猫の捕獲と避妊処置を行いました。

このクラブの目的は、猫を捕獲して処分することではなく、猫を猫として扱い、生来持っている命を全うさせたい。キチンと管理することで、「猫ウンチ」被害を減らし、苦情を無くします。猫好きな方には、堂々と猫を可愛がってまいります。この運動を第五地区全域に広げたいとのことです。

「愛猫コンクール」「猫ニャンカレンダー」を作り、ブログを立ち上げて、猫好きに発信するなどの構想を持っております。

住民と猫が、互いの存在を認めて「共生ともいき」できる地域（社会）になることを目指して取り組んでおります。

各町
より

どんど焼き ～各地で伝承行事が行われました～

小正月伝統行事のどんど焼きが、第五地区各場所で行われました。1月9日（土）には中御所九反組、10日（日）には中御所堀組、11日（月）には南北石堂町・岡田町・末広町の4町が合同で北石堂町の当番幹事で行われました。



正月の松飾・しめ縄・だるま・古神札・書初めなどを家庭や会社から持ち寄り、昨年11月に清美された裾花川河川敷で、長い竹や木、藁などでやぐらを組んで飾り付け、無病息災を祈る火祭り行事が行われました。

9日（土）には青空の穏やかな天気の下、長安橋下流の河川敷で来賓に風間県議をお迎えして、九反太々神楽保存会の皆さんによる神楽舞奉納のあと、二つに組んだやぐらに火がつけられ天高く燃え上がりました。

11日（日）には相生橋下流で、来賓に柘植市議、寺澤前市議をお迎えして、大勢の町民が集まって行われました。一年の身体健康・無病息災・家内安全・五穀豊穰などを祈願して、持参した餅や串刺しにした団子を、おき火で焼いて持ち帰りました。今年一年が良い年でありますように。



事務局

第五地区の活動にご意見、ご提案がありましたら、各町の区長さんまたは、事務局にお問い合わせ下さい。

〒380-0833
長野市大字鶴賀権堂町2201番地20
権堂イーストプラザND 1階 第一から第五地区合同事務所

TEL 262-1512 (FAX共通)
メール dai5@feel.ocn.ne.jp